

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 16 日現在

機関番号：32677

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25282062

研究課題名(和文) ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育を実現するカリキュラム開発

研究課題名(英文) Developing a Curriculum for Media Literacy Education in the Social Media Age

研究代表者

中橋 雄 (Nakahashi, Yu)

武蔵大学・社会学部・教授

研究者番号：80389064

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、ソーシャルメディア時代におけるメディア・リテラシー教育を実現する初等教育のカリキュラム開発を行ったものである。具体的には、「ソーシャルメディアに関する学習内容」「社会構成主義に関する学習理論導入の効果」「ICT環境下の指導方略」について検討し、教育プログラムを開発した。その結果、ソーシャルメディア時代におけるメディア・リテラシー教育を実現する小学校高学年用の教育プログラムを開発することができ、実証実践を通じてその有効性を検証することができた。研究の成果は、書籍『メディア・リテラシー教育 ソーシャルメディア時代の実践と学び(北樹出版)』として出版し、広く公開することができた。

研究成果の概要(英文)：In this study, a curriculum for media literacy education at an elementary level was developed, to meet the needs of the social media age. More specifically, the education program was inspired by a consideration of the following: “educational content related to social media,” “the effectiveness of introducing educational theories related to social constructivism,” and “instruction strategies in an ICT environment.” Through this process, we developed a curriculum optimal for the use of students in the upper grades of elementary school, and tested its theoretical and practical efficacy. The results of this research were published by Hokuju Shuppan as Media Riterashi Kyoiku: Sosharu Media Jidai no Jissen to Manabi(Media Literacy Education: Practice and Learning in the Social Media Age), and have been circulated widely.

研究分野：メディア教育、教育学

キーワード：メディア・リテラシー ソーシャルメディア 教授・学習理論 ICT学習環境 カリキュラム開発

1. 研究開始当初の背景

メディア・リテラシーを育むメディア教育の重要性は、一般に認識されるようになってきている。しかし、教科には教科の学習目標があるため、メディア教育の学習目標を教科教育の中に設定することは困難な場合も多い。そこで、2011～2013年に京都教育大学附属桃山小学校は、文部科学省の研究指定を受け、初等教育における新教科「メディア・コミュニケーション科」のカリキュラム開発研究を行った。

申請者は、その研究に関わり、その後取り組むべき3つの研究課題を明らかにした。それは、「ソーシャルメディアに対応した学習内容をカリキュラムに組み込むこと」「これまでの教授・学習のスタイルを批判的に見直すために、社会構成主義の学習理論を取り入れること」「電子黒板、タブレット型情報端末、デジタル教科書などをメディア教育に活用する方法論を検討すること」である。

このような経緯から、「情報端末と電子黒板を連動させた教室環境を前提として、社会構成主義の学習理論を取り入れた、ソーシャルメディア時代に求められるメディア教育を実現するカリキュラム開発を行う」という本研究の着想に至った。

2. 研究の目的

本研究の目的は、ソーシャルメディア時代におけるメディア・リテラシー教育を実現する初等教育のカリキュラム開発を行うことである。具体的には、次の3点について取り組むこととした。

(1) ソーシャルメディアに関する学習の到達目標とカリキュラム上の位置付けを明らかにする。その際、新教科設置を想定し、既存教科と新教科で扱う内容の棲み分けを明確にする。

(2) メディア教育の実践において、社会構成主義の学習理論を取り入れることが上記の学習目標の到達にどのように寄与するかを明らかにする。そのための実証実践を行い、評価する。

(3) 情報端末と電子黒板を連動させた ICT 環境を用いて社会構成主義的な学習を促進させるための指導方略を明らかにする。その際、デジタル教科書などのあり方も含め検討する。

3. 研究の方法

本研究は共同研究者を3チームに分けて遂行し、その成果を集約し統合した。3つのチームが担ったテーマは、「a. メディア・リテラシーとソーシャルメディア」「b. メディア・リテラシーと教授・学習理論」「c. メディア・リテラシーと ICT 学習環境」である。これらの成果に基づいて、ソーシャルメディア時代に求められるメディア教育を実現する初等教育(高学年)のカリキュラムを作成

することとした。

平成25年度は、文献調査を基盤としつつも、フィンランド等で海外視察インタビュー調査を行うなど、学習内容に関する検討を進めた。それと同時に ICT 環境の設計を行った。平成26年度は、モデル実践の開発、学習理論の整理、ICT 環境の整備に基づく実証実践と実践研究を行った。平成27年度は、教科間の棲み分けを検討するとともに、教育方法の可能性と ICT 環境に求められる要件を明らかにして、カリキュラムの作成と評価を行った。以上の研究の成果をまとめ、平成28年度は、学会での意見交流、最終報告書として書籍を出版するなど、広く成果の公開を行うことを計画した。

4. 研究成果

研究の結果、ソーシャルメディア時代におけるメディア・リテラシー教育を実現する小学校高学年用の教育プログラムを開発することができ、実証実践を通じてその有効性を検証することができた。

具体的には、「各教科」と「メディア教育に特化した教科」との棲み分けを検討した結果、各教科で扱うことが難しい内容に関して「メディア教育に特化した教科」の学習内容を整理することができた。また、学習理論研究に基づくメディア教育における教育方法の可能性を検討した結果、有効な方法として「オーセンティックな課題を設定する教育方法」「疑似体験から学ぶ教育方法」「多様な価値観の存在に触れる教育方法」「人の役に立つことを活動目的とした教育方法」「失敗から学ぶ実践的な教育方法」などがあることを明らかにした。さらに、メディア教育における ICT 環境に求められる要件を整理した結果、1人1台タブレット環境におけるメディア教育を成立させるために、学校文化をどのように形成するか検討することの重要性を明らかにした。

これらの知見を統合して教育プログラムと教材を開発・検証した。例えば、「疑似ニュースサイト・動画共有サイトを教材として用いて、ソーシャルメディアの特性について学ぶ教育プログラム」「クラス内 SNS を活用しながら SNS の特性とあり方について考える学習プログラム」「メディアの特性に関するクイズを作成するタブレット用のアプリを活用してメディアについて学ぶ教育プログラム」などを開発し、実証実践を通じて、その有効性を検証することができた。

数多く得られた研究の成果については、学会での口頭発表、論文投稿を通じて公表してきた。そして、その蓄積を「教育内容」「教育方法」「授業設計」「学習環境」「教師教育」といった観点からまとめ直し、集大成として書籍『メディア・リテラシー教育 ソーシャルメディア時代の実践と学び(北樹出版)』を出版し、広く公開することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 50 件)

1. 中橋 雄、メディア・リテラシー教育の現状と課題～情報教育との比較から、日本教材文化研究財団メディア・リテラシー研究会『メディア・リテラシー教育の実践事例集の開発』調査研究シリーズ、査読無、70 巻、2016、20-31
2. 中橋 雄、メディア・リテラシー教育に関する研究の深まりと広がり、学習ソフトウェア情報研究センター『学習情報研究』、査読無、253 巻、2016、16-17
3. 中橋 雄、ネット社会の自己表現～表現の自由と責任を考える、児童心理、査読無、70 巻(15)、2016、34-39
4. 中橋 雄、中川一史、佐藤幸江、青山由紀、国語科学習者用デジタル教科書のメーカー機能と授業支援システムの画像転送機能を活用して言葉を検討させる授業における指導方略、日本教育工学会論文誌、査読有、40 巻(Suppl.), 2016、105-108
<http://doi.org/10.15077/jjet.S40062>
5. 大久保紀一郎、佐藤和紀、中橋 雄、浅井和行、堀田龍也、マンガを題材にしたメディア・リテラシーを育成する学習プログラムの開発と評価、教育メディア研究、査読有、23 巻(1)、2016、33-45
6. 寺岡裕城、浅井和行、小学校国語科でのメディア・リテラシー教育の実践、京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報、査読無、5 巻、2016、54-60
7. 豊田充崇、児童生徒のネット利用実態と「コミュニティ感覚」の育成に向けた情報モラル指導、学習情報研究、査読無、249 巻、2016、46-49
8. 中橋 雄、ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシーの構成要素、学習情報研究、査読無、246 巻、2015、14-15
9. 川瀬基寛、タブレット端末で学ぶメディア教育用教材 - SNS に関する初期教育に特化したデジタル教材開発と課題 -、学習情報研究、査読無、246 巻、2015、28-29
10. 豊田充崇、学校教育向け「児童用 SNS」に必要な機能とその活用条件に関する研究、和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要、査読無、25 巻、2015、1-8
11. 今野貴之、メディア・リテラシー育成を目指した授業設計、学習情報研究、査読無、246 巻、2015、20-21
12. 中川一史、メディアで表現する学習に活用できる到達目標の開発、学習情報研究、査読無、246 巻、2015、22-23
13. 鈴木克明、学習意欲を高める授業デザイン、教育と医学、査読無、63(9)巻、2015、19-25
14. 佐藤幸江、ICT活用と子ども主体の授業づくり、教育展望、査読無、61(9)巻、2015、39-43
15. 中橋 雄、メディア活用とリテラシーの育成、放送メディア研究 特集：多様化する子どもの学習環境と教育メディア、査読無、12 巻、2014、125-148
16. 中橋 雄、ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー、学習情報研究、査読無、238 巻、2014、4-5
17. 今野貴之、イギリスのメディア教育と教材、学習情報研究、査読無、238 巻、2014、6-7
18. 佐藤和紀、中橋 雄、動画共有サイトへの作品公開に関する議論の学習効果：映像制作実践で育まれるメディア・リテラシー、教育メディア研究、査読有、21(1)巻、2014、1-10
19. Kenichi Kubota, Kikuko Miyake, Makiko Kishi, Li Kedong, Collaborative Research on Teaching Higher Order Cognitive skills at Japanese and Chinese Elementary Schools, Proceeding of International Conference for Media in Education, 査読有、12 巻、2014、1-6
20. 浅井和行、中橋 雄、黒上晴夫、久保田賢一、専門書が実践報告を通じて伝えているメディア・リテラシーのイメージ、日本教育工学会論文誌、査読有、37(4)巻、2014、505-512
21. 中橋 雄、新しい知を創造する学習における ICT 活用、日本教材文化研究財団研究紀要、査読無、43 巻、2014、40-45
22. 浅井和行、小学校新教科『メディア・コミュニケーション科』開発の試み、学習情報研究、査読無、236 巻、2014、34-37
23. 稲垣 忠、亀井美穂子、寺嶋浩介、中橋 雄、遠藤麻由美、Web 教材を用いた児童

のメディア制作活動支援の分析、日本教育工学会論文誌、査読有、37(Suppl.)巻、2013、77-80

24. Tadashi Inagaki, Mihoko Kamei, Kosuke Terashima, Yu Nakahashi, A Project Report: Development of iPad-Based Learning Materials about Media Production, International Journal for Educational Media and Technology, 査読有、7(1)巻、2013、50-58
25. Nakajima, K., Nakano, H., Watanabe, A., & Suzuki, K., Proposal for the Volition Subcategories of the ARCS-V Model., International Journal for Educational Media and Technology, 査読有、7(1)巻、2013、59-69

〔学会発表〕(計 83 件)

1. 佐藤和紀、中橋 雄、堀田龍也、メディア・リテラシーを育む小学校高学年のカリキュラム開発の試み タブレット端末と学校放送番組を活用した 2 年間の実践からー、日本教育メディア学会第 23 回年次大会、2016 年 11 月 26 日～2016 年 11 月 27 日、奈良教育大学(奈良県・奈良市)
2. 佐藤幸江、中川一史、中橋 雄、映像メディアの理解と表現に関する指導の指標の比較検証 小学校国語科指導書「学習指導の展開例」に着目にしてー、日本教育メディア学会第 23 回年次大会、2016 年 11 月 26 日～2016 年 11 月 27 日、奈良教育大学(奈良県・奈良市)
3. 浅井和行、ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育のルーブリックの開発、日本教育メディア学会第 23 回年次大会、2016 年 11 月 26 日～2016 年 11 月 27 日、奈良教育大学(奈良県・奈良市)
4. 中橋 雄、山口眞希、学級内 SNS における学習者のコミュニケーション分析、日本教育工学会第 32 回全国大会、2016 年 09 月 17 日～2016 年 09 月 19 日、大阪大学(大阪府・豊中市)
5. 山口眞希、中橋 雄、SNS に関するメディア・リテラシー教育プログラムの開発、日本教育工学会第 32 回全国大会、2016 年 09 月 17 日～2016 年 09 月 19 日、大阪大学(大阪府・豊中市)
6. 今野貴之、学校現場における新しい教育技術・方法の導入に伴う課題、第 32 回日本教育工学会全国大会、2016 年 09 月 17 日～2016 年 09 月 19 日、大阪大学(大阪府・豊中市)
7. Kenichi Kubota, Bert Kimura, Mary Kimura, Wendy Kuntz, Kelli Goya, Arata Torii, Curriculum Design for International Collaborative Place-based Learning: An Exchange Program between American and Japanese Undergraduate Students, International Conference on Media in Education 2016 (国際学会), 2016 年 08 月 18 日～2016 年 08 月 20 日, Kyoto University of Foreign Studies (京都府・京都市)
8. Taku Yamakawa, Kazuyuki Asai, Yu Nakahashi, Media Communication: A new subject for developing the “21st century model to cultivate information literacy”, International Conference on Media in Education 2016 (国際学会), 2016 年 08 月 18 日～2016 年 08 月 20 日, Kyoto University of Foreign Studies (京都府・京都市)
9. Hitoshi Nakagawa, Masuo Murai, Yukie Sato, Yuki Kobayashi, Naruyoshi Tabe, Junnosuke Abe, Aritomo Iwasaki, Development of Mapping Application with Tablet Type Terminals for Visualization of Students' Thinking, World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications(EDMEDIA2016) (国際学会), 2016 年 06 月 27 日～2016 年 06 月 30 日, Vancouver(Canada)
10. 大久保紀一郎、佐藤和紀、中橋 雄、浅井和行、堀田龍也、マンガを読解・解釈・鑑賞する力を育成するメディア・リテラシー学習プログラムの開発と評価、日本教育メディア学会第 22 回年次大会、2015 年 10 月 17 日～2015 年 10 月 18 日、日本大学(東京都・世田谷区)
11. 佐藤和紀、竹田康一郎、中橋 雄、出来事を伝える写真の撮り方を学ぶデジタル教材の開発と評価、日本教育メディア学会第 22 回年次大会、2015 年 10 月 17 日～2015 年 10 月 18 日、日本大学(東京都・世田谷区)
12. 中橋 雄、教育メディアの活用と学級文化の形成、日本教育メディア学会第 22 回年次大会、2015 年 10 月 17 日～2015 年 10 月 18 日、日本大学(東京都・世田谷区)
13. 岡本弘之、浅井和行、『私のメディア史』

- 制作からメディア・リテラシーを育てる授業、日本教育メディア学会第22回年次大会、2015年10月17日～2015年10月18日、日本大学(東京都・世田谷区)
14. 佐藤和紀、中橋 雄、堀田龍也、探究的な学習の授業デザインを基盤としたメディア・リテラシー育成プログラムの開発と効果、第41回全日本教育工学研究協議会全国大会、2015年10月9日～2015年10月10日、富山県民会館(富山県・富山市)
 15. 山口眞希、今野貴之、中川一史、メディア・リテラシー育成をめざした国語科の授業設計とその評価ー学校放送番組を活用してー、第41回全日本教育工学研究協議会全国大会、2015年10月9日～2015年10月10日、富山県民会館(富山県・富山市)
 16. 中橋 雄、日本教育工学会におけるメディア・リテラシー研究の蓄積、日本教育工学会第31回全国大会、2015年9月21日～2015年9月23日、電気通信大学(東京都・調布市)
 17. 浅井和行、アクション・リサーチによるMCカリキュラムの改善、日本教育メディア学会研究会、2015年6月13日、東北学院大学(宮城県・仙台市)
 18. 佐藤和紀、中橋 雄、堀田龍也、小学校高学年のメディア・リテラシーの向上を目指した映像制作の効果、第40回全日本教育工学研究協議会全国大会、2014年10月25日、京都テルサ(京都府・京都市)
 19. 中橋 雄、田中愛子、動画共有サイトの特性を学ぶメディア教育用教材、日本教育メディア学会第21回年次大会、2014年10月11日～2014年10月12日、金沢星稜大学(石川県・金沢市)
 20. 佐藤和紀、中橋 雄、1人1台タブレット端末環境におけるメディア・リテラシー実践と児童・保護者の意識、日本教育メディア学会第21回年次大会、2014年10月11日～2014年10月12日、金沢星稜大学(石川県・金沢市)
 21. 久保田賢一、メディア・リテラシー教育におけるプロジェクト学習:社会構成主義の観点から、日本教育メディア学会第21回年次大会、2014年10月11日～2014年10月12日、金沢星稜大学(石川県・金沢市)
 22. 浅井和行、山川拓、中橋 雄、小学校におけるメディアについての批判的思考力を育てる新教科の開発、日本教育メディア学会第21回年次大会、2014年10月11日～2014年10月12日、金沢星稜大学(石川県・金沢市)
 23. 中橋 雄、新 りこ、佐藤和紀、ニュースサイトを事例としてUGMの特性を学ぶメディア・リテラシー教育用教材の開発、日本教育工学会第30回全国大会、2014年9月19日、岐阜大学(岐阜県・岐阜市)
 24. 浅井和行、小学校におけるメディアについての批判的思考力を育てる新教科の開発、日本教育メディア学会研究会、2014年7月13日、長崎県立大学(長崎県・佐世保市)
 25. Suzuki, Y., Matsuba, R., Kita, T., Suzuki, K., Development of ARCS Motivation Model Based System for Instructional Improvement. SITE2014(Society for Information Technology and Teacher Education), 2014年3月17日～2014年3月21日、SITE2014 (Jacksonville Jacksonville, Florida, USA)
 26. 中橋 雄、中川一史、小学校国語科指導者用デジタル教科書を活かす指導方略、日本教育メディア学会第20回年次大会、2013年10月12日～2013年10月13日、和歌山大学(和歌山県・和歌山市)
 27. 佐藤和紀、中橋 雄、ソーシャルメディア時代に対応したメディア・リテラシー育成プログラムの開発と試行(1)、日本教育メディア学会第20回年次大会、2013年10月12日～2013年10月13日、和歌山大学(和歌山県・和歌山市)
 28. 浅井和行、山川拓、中橋 雄、『メディア・コミュニケーション科』の開発と試行、日本教育メディア学会第20回年次大会、2013年10月12日～2013年10月13日、和歌山大学(和歌山県・和歌山市)
 29. 久保田賢一、社会的実践に埋め込まれたメディア・リテラシー教育、日本教育メディア学会第20回年次大会、2013年10月12日～2013年10月13日、和歌山大学(和歌山県・和歌山市)
 30. 中橋 雄、西尾真由子、尾張有香、稲垣忠、Web検索の方法を学ぶデジタル教材の開発、日本教育工学会第29回全国大会、2013年9月21日～2013年9月23日、秋田大学(秋田県・秋田市)

〔図書〕(計 21 件)

1. 中橋 雄(編) 北樹出版、『メディア・リテラシー教育 ソーシャルメディア時代の実践と学び』、2017、181
2. 北川達夫、中川一史、中橋 雄(編著) フォーラム・A、フィンランドの教育～教育システム・教師・学校・授業・メディア教育から読み解く～、2016、160
3. ライゲルース・カー＝シエルマン(編著) 鈴木克明、林雄介(監訳) 北大路書房、インストラクショナルデザインの理論とモデルー共通知識基盤の構築に向けて一、2016、449
4. 中川一史、山本朋弘、佐和伸明、村井万寿夫(編著) フォーラム・A、タブレット端末を活用した 21 世紀型コミュニケーション力の育成、2015、111
5. 鈴木克明、北大路書房、研修設計マニュアル:人材育成のためのインストラクショナルデザイン、2015、284
6. 中橋 雄、北樹出版、メディア・リテラシー論 ソーシャルメディア時代のメディア教育、2014、176
7. 豊田充崇(監修) 明治図書出版株式会社、ICTを活用した学び合い授業アイデア BOOK、2014、139
8. 中橋 雄、松本恭幸(編著) 北樹出版、メディアプロデュースの世界、2013、143
9. 久保田賢一(編著) 晃洋書房、高等教育におけるつながり・協働する学習環境デザイン:大学生の能動的な学びを支援するソーシャルメディアの活用、2013、241
10. 中川一史(編著) フォーラム・A、ICTで伝えるチカラ、2013、159

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中橋 雄 (NAKASHI, Yu)
武蔵大学・社会学部・教授
研究者番号: 80389064

(2) 研究分担者

浅井 和行 (ASAI, Kazuyuki)
京都教育大学・大学院連合教職実践研究科・教授
研究者番号: 30324718

(3) 研究分担者

川瀬 基寛 (KAWASE, Motohiro)

十文字学園女子大学・人間生活学部・准教授

研究者番号: 40469268

(4) 研究分担者

豊田 充崇 (TOYODA, Michitaka)
和歌山大学・教育学部・教授
研究者番号: 60346327

(5) 研究分担者

今野 貴之 (KONNO, Takayuki)
明星大学・教育学部・助教
研究者番号: 70632602

(6) 研究分担者

久保田 賢一 (KUBOTA, Kenichi)
関西大学・総合情報学部・教授
研究者番号: 80268325

(7) 研究分担者

中川 一史 (NAKAGAWA, Hitoshi)
放送大学・教養学部・教授
研究者番号: 80322113

(8) 研究分担者

鈴木 克明 (SUZUKI, Katsuaki)
熊本大学・教授システム学研究センター・教授
研究者番号: 90206467

(9) 研究分担者

佐藤 幸江 (SATO, Yukie)
金沢星稜大学・人間科学部・教授
研究者番号: 90599614